

ほんじつ ～本日のおすすめの本②～

ほっきょく なんきょく
『北極と南極の「へ～」



かだいとしょ
課題図書

ちぎゅう
くらべてわかる地球のこと』

なかやま ゆみ ぶん しゃしん がつけん (2019年年初版)
中山由美 文・写真・学研(2019年初版)
*この本は 4番の書棚にあります。(貸出可能)

かぎ
限りあるものを大切に！！

いま ほんもくみなみしょうがっこう えすでいじいず せつぎょくてき しょうかい ことし えすでいじいず
今、本牧南小学校では、SDGsを積極的に紹介しています。今年は、とにかく、SDGsについて知る年として、学校図書館でも専用のコーナーができ、年間計画をたてて本や資料の紹介もしています。

えすでいじいず かんたん ちぎゅうじょう ねん しんげん と
SDGsとは、簡単にいうと、地球上のみんなが、これから10年、真剣に取り組まないといけない「人類の課題」のようなものです。

ぜんぶ 17 項目ありますが、どれも、難しいことではなく、だれもが身近なことから取り組めるものです。

そんな中で、この課題図書は、特に「12」「13」「14」「15」の課題について考える良いきっかけを作ってくれることでしょう。

「12」は、つくる責任つかう責任

「13」は、気候変動に具体的な対策を

「14」は、海の豊かさを守ろう

「15」は、陸の豊かさを守ろう



この本は、「ホッキョクグマくん」と「アデリーペンギンちゃん」が、北極と南極の違いや大切さを、クイズ形式でみんなに問いかけてきたり、著者がわかりやすく、地球について北極と南極の大切さを伝えてくれています。ふりがなもふってあるので、低学年のみなさんでも読めますよ。ぜひ、夏休みにチャレンジしてみてください。

えすでいじいず サステイナブル ディベロップメント ゴールズ 略で、
SDGsとはSustainable Development Goalsの略で、
「持続可能な開発目標」という意味があり、全部で17つの課題
があります。

ほんもくみなみしょうがっこう つね えすでいじいず いしき わたし よ
本牧南小学校では、常にSDGsを意識して、私たちのより良い
未来を作るために小さな努力をみんなではじめています。学校
図書館では、専用のコーナーができました。また、学校司書が
授業の支援で紹介する「ブックトーク」では、必ずSDGsに
関連付けて本を提供しています。

ぜひ、身近なところから課題を見つけて、本を読んでみませんか？

ねんせいだいしゅう
3・4年生対象

いちぐう て
一隅を照らす

…まずは自分の身近なこ
とから！

本を読むのもその第一歩
です。